

輝 け ！ 高 生 中

文責 校長 和田義則

一人一人が思いやりをもち、お互いを支え合う学校をつくろう

「当たり前だった学校生活がすごく大きな存在だった。普通に暮らすことがいかに大切かがわかった。」

～ 生徒の不安に関するアンケートより ～

新型コロナウイルス感染流行を防ぐために、3月2日から全国一斉休校が始まり、約4か月ぶりに 高生中学校全生徒がそろって、6月29日から通常の学校生活が始まります。

しかし、学校再開に向けて、皆さんは感染や勉強、受験等について、多くの不安があると思います。先日不安に関するアンケートをとりましたが、下記のような不安だけでなく、「今まで当たり前だった学校生活や友達大切さがわかった。」等、安心したことや学んだこと等も書かれていました。

これから感染しない安心な学校をつくるために、一人一人がお互いの不安を理解して、思いやりを大切にすること、そして、マスクや手洗い等の感染しない努力をしていきましょう。

不安なこと・心配なこと （アンケートより）

人との距離がちゃんととれるか心配です。

このまま分散登校が続いたら、友達がちゃんと作れるか不安。

もしクラスの人が感染してしまった時に、どのくらいの休校になってしまうのか少し心配です。

祖父が持病持ちなので、感染しないように気を付けないといけないと思いました。

自分が感染していないか、もし感染して周りの人にうつしてしまっていたら不安です。

家族が感染して、今まで仲良くしていた人からのけ者にされてしまった人のテレビを見て悲しくなりました。

勉強が1年で終わらなかったらどうなるか。勉強がこのままだと追いつかないから少し不安です。

勉強時間が少なくなり、受験に間に合わなくなるのではないかと思います。また、来年の受験がどうなるか心配です。

いつから部活ができるか。

安心したこと・学んだこと （アンケートより）

悪化しても自分が他の人にうつさないように努力することが大切だと思いました。

久しぶりに会った友達が元気だったこと、友達の大切さに気づいた。

授業前の手洗いやマスク等、みんながちゃんと感染対策をしているから安心しました。

自分の体調をよく気遣うことが増えた。家に帰ったら、すぐに手洗い、うがいの習慣がついた。

毎日お母さんが、私の昼ご飯を用意して仕事に行ってくれたり、ありがたみを感じました。

欠席してしまった人が、翌日元気に戻ってきた時や、休んでいる人に声掛けをしている人がいて安心した。

自分は大丈夫だと思ってマスクをしなくても、他の人は嫌だと言うことがあるので考えて行動しようと思った。

みんなの命を守るために （スクールサポート・スタッフ・学校業務補助員の方等）

～ 「自分のために、誰かが努力してくれている。」そして「誰かのために、努力する。」へ ～

皆さんが感染しないように、先生方は毎日、教室の机やドア等の消毒したり、健康観察をしています。

しかし先生方以外にも、皆さんの目に見えないところで一生懸命に尊い努力をされている方々がいます。

スクールサポート・スタッフと学校業務補助員の方は、毎日全てのトイレの便器の清掃・消毒、学校中の階段の手すりや窓、スイッチ等の消毒という大変な仕事をして下さっています。また、事務員や校務員、学校図書館職員の方も、健康観察や清掃、消毒をされています。

アンケートにも「学校の中で感染予防のために、掃除をして下さっている人がいて安心しました。」等の感謝する文章がありました。また、補助員の方も「生徒からお礼を言われてうれしかった。」と言われていました。

人命を守るために、病院等で働いている医療従事者の方々に対して、全世界で感謝の気持ちを大切にしよう、様々な取り組み（一斉に決まった時刻に拍手をする等）が行われました。

誰かの努力で、自分が大切にされている。それを理解・感謝し、「誰かのために、感染させない努力する。」という気持ちと行動が育つことを期待しています。